



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(10月30日時点)

米商品先物取引委員会(CFTC)が11月2日に発表した建玉報告によると、10月30日時点のシカゴ・マーカントイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は、9万1620枚となり、前週比1184枚縮小。投機筋は売り買い共にポジションを減らし、売りポジションをより多く減らした。

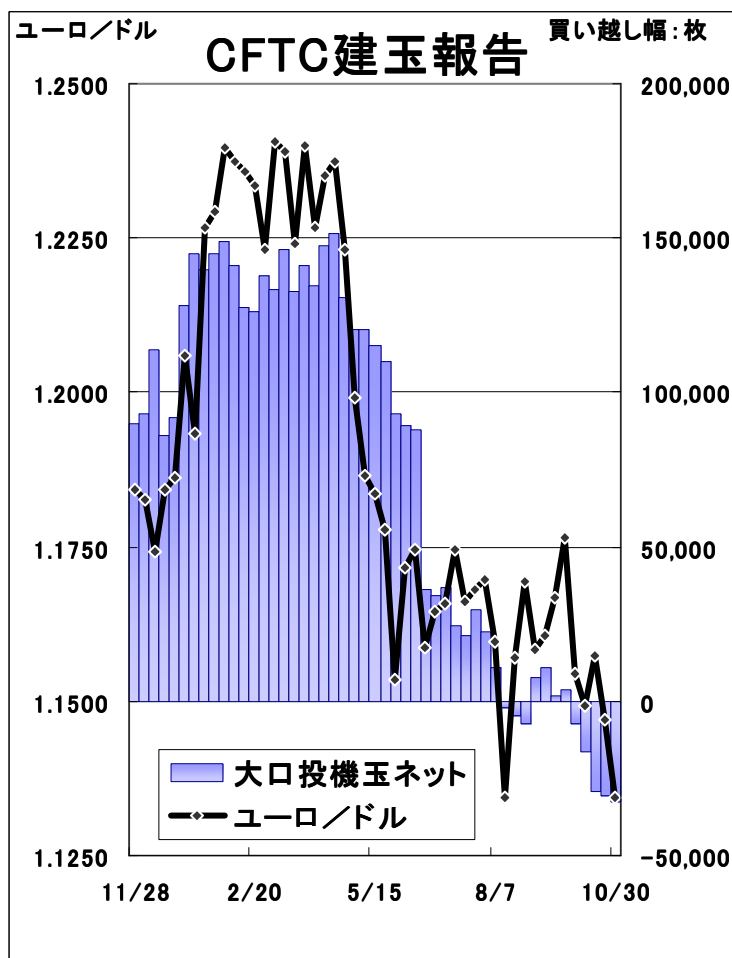
期間中の円(対ドル)は軟調。米長期金利の上昇を眺めたドル買い円売りが続いた。

トランプ米大統領は30日、11月末からの20カ国・地域(G20)首脳会議に合わせて開く予定の米中首脳会談が不調に終わった場合には新たな制裁を課すと警告しながらも、同国との間で素晴らしい合意に達することができると信じていると強調。発言を巡り、上下動する場面もあったが、週間ベースではドル高が進行した。

期間中のユーロ(対ドル)は下落。大口投機玉の売越幅は、3万2662枚となり、前週比2358枚拡大した。

10月28日に実施されたドイツ・ヘッセン州議会選挙でメルケル独首相率いるキリスト教民主同盟(CDU)が大きく議席を減らす結果となり、重視された地方選で2連敗。メルケル独首相は与党党首の引責辞任と今限りでの首相退任を表明。また、イタリア財務省は30日、欧州連合(EU)欧州委員会がイタリアの大規模な公的債務は「ユーロ圏全体の懸念」の源泉だとの認識を示した上で、伊政府に対し、2019年予算案を巡る不安に11月13日までに対応するよう要請した29日付の書簡を公表。欧州経済を巡る先行き不透明感が強まったことで、外国為替市場ではユーロ売りドル買いが進行した。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
07/03	110.57	-38,730	1.1658	36,747
07/10	111.26	-39,832	1.1747	24,357
07/17	112.85	-58,650	1.1662	21,407
07/24	111.19	-73,769	1.1682	29,640
07/31	111.75	-68,457	1.1696	22,825
08/07	111.37	-62,807	1.1598	10,565
08/14	111.14	-58,368	1.1343	-1,789
08/21	110.22	-47,406	1.1571	-4,841
08/28	111.17	-46,041	1.1694	-7,219
09/04	111.45	-51,932	1.1582	7,963
09/11	111.56	-53,886	1.1606	11,170
09/18	112.33	-63,755	1.1667	1,666
09/25	112.94	-84,719	1.1766	3,696
10/02	113.65	-114,046	1.1546	-7,101
10/09	112.94	-115,201	1.1493	-16,142
10/16	112.28	-100,621	1.1573	-29,344
10/23	112.39	-92,804	1.1469	-30,304
10/30	113.02	-91,620	1.1345	-32,662
前週比	0.63	+1,184	-0.0124	-2,358



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。